

巨木と季節の花



名称	逸話(場所)
山の神さん	樹齢 800 余年の大杉。「大山津美の神」として山仕事や材木商に携わる方々に祀られる。12月7日祭典。場所は、古市場水分神社の北側(現 奈良カエデの郷ひらら南側)。
八房杉	根本周囲9m、8本の幹が絡み合った奇樹。神武天皇が植えたと伝えられる。場所は、桜実神社境内。(国指定天然記念物)
頼朝杉 夫婦杉	幼少の頃の源頼朝が植えた杉(二代目)。樹齢 350 年になる根本が一つになる夫婦和合の杉が鎮座。他にも樹齢約 500 年の杉や榎がいっぱい。場所は、宇太水分神社境内。
しほしや 洗無椏	別名「白米椏(はくまいがや)」。種子は、洗ひ皮が新鮮なうちは種心に密着し、後で乾燥すると種心から離れて白米のようになるとても不思議な椏。場所は、宇賀神社から東。(県指定天然記念物)
目業の木	ムクロジ科カエデ属の落葉高木。その名の通り「目業」として、また肝機能向上の薬の元となる。奈良カエデの郷ひららに。内。
むくろじゆ	ムクロジ科であり見かけない落葉高木樹。昔から石鹸の代用として珍重された。果実の中の黒くて硬い芯(種子)は、古くは羽子板の羽根の玉として利用価値があった。奈良カエデの郷ひららに。
みくまり桜	古市場地区は、1959年(S34)9月の伊勢湾台風で甚大な被害を受けた。その復興の際に、青年たちが植えたものが、こん日の桜の名所となった。
岩端の桜	上記と同じく、伊勢湾台風復興の際に岩端地区芳野川沿いに植えられた。

特産品・名産品

※宇陀市ホームページ及び宇陀市発行「特産品・名産品ブック」より抜粋

【特産品】

- 毛皮革製品
- 宇陀金ごぼう
- 磨き丸太
- 宇陀産黒大豆・黒大豆枝豆

【名産品】

- 宇陀牛(宇陀山繁)
- よもぎねこ(辻本朝日堂)
- 醤油(富永商店)
- みたらし団子(西昭和堂)
- ブルーベリージャム(南アグリ)
- うだせんべい(宇陀商工会)

※各店または、アグリマート、奈良カエデの郷ひららで購入できます。

遊ぶ・体験する

【農業体験】

- ・ 芋ほり
- ・ 黒豆収穫
- ・ お米作り

【果樹収穫体験】

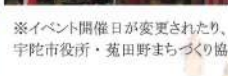
- ・ ブルーベリー等

【見る】

- ・ ほたる鑑賞



四季を彩る イベント・行事・祭事



4月	第1日曜 上旬 上旬 10日 第2日曜	神武祭 さくら祭 うたの夢街道 金刀比羅神社春季例祭 日張山青蓮寺会式	佐倉 各地区 古市場 古市場 宇賀志
5月	上旬 上旬 中旬 下旬	八十八夜 八十八夜 奈良カエデの郷ひらら 見頃 金比羅会式 健康ウォーキング	駒備 宇賀志 古市場 下芳野 各地区
6月	初旬 中旬 中旬	松井ふれあいデー 百合揃え ぼたる公園 見頃	松井 大神 下芳野
7月	上旬	阿蘇神社祭 夏宵宮祭典	平井 各地区
8月	16日 中旬 中旬 中旬 中旬	古市場納涼夏祭り 百燈献上(六柱神社) 百燈 八朔 地藏盆 夏祭り	古市場 別所 各地区 平井 各地区 岩崎
9月	10日 上旬 上旬 中旬	金刀比羅神社秋季例祭 二本杉祭 行者さん・薬師さん 八幡宮会式・金比羅会式	古市場 駒備 宇賀志 下芳野
10月	第3日曜 中旬 中旬	菟田野秋まつり 水分神社秋季例祭 惣社水分神社神輿渡御 愛宕神社例祭 健康ウォーキング	古市場 上芳野 岩崎 各地区
11月	上旬 上旬 上旬 23日 下旬 23日 下旬	菟田野人權フェスティバル 山野神社例祭 若宮祭 奈良カエデの郷ひらら 見頃 新嘗祭 亥の子祭 日張山亥の子 毛皮革フェアin菟田野 宗像社亥の子祭	岩崎 下芳野 古市場 各地区 大澤 宇賀志 岩崎 古市場
12月	下旬 下旬 31日	阿蘇神社祭 山の神 うたの三社初詣	平井 各地区 各地区
1月	13日 13日 中旬	左義長 秋葉神社祭 とんど	稲戸 駒備 各地区
2月	7日 中旬 中旬	古市場初えびす 福陀寺観音初年会式 春の祈念祭 豆神祭	古市場 下芳野 各地区 東郷
3月	3日 9日 21日 23日	庄屋大兵衛法要 太子会式法要 大師会式 愛宕祭	平井 大澤 平井 東郷

※イベント開催日が変更されたり、中止になる場合もありますので、主催者又は、宇陀市役所・菟田野まちづくり協議会にご確認ください。

「菟田野秋まつり」を巡る

■由来
起源は平安時代にまでさかのぼる。上芳野(芳野川の支流)に位置する惣社水分神社の速秋津姫様が、夫君である宇太水分神社の御祭神、速秋津彦命様にお会いになるため、お神輿に乗って会いに来るといふロマンチックなお祭。
■日程
十月の第三日曜日。本来は十月二十一日と定められていたが、近年の情勢を踏まえ、より多くの方にご参詣いただけるよう変更した。

■行程
御神輿渡御行列のうごき
・惣社水分神社では、御神輿渡御行列が出発式を行って出発。
・午前9時 御神輿渡御行列は、鳥居垣内(A)で検査を、観音寺前(B)で祭典を行う。
・午前10時 御神輿渡御行列は、山野口(C)で祭典を行う。
・午前11時半ごろ
御神輿渡御行列は、東郷の勝林寺前(D)で宇太水分神社側からの迎え(神職、氏子代表、郷社氏子代表)と合流して祭典を行う。宇太水分神社の男神様からの秘授(特別なおそなえ)である果と化粧品を惣社水分神社の女神様のお神輿にささげる。女神様はここで化粧をなさる。その後検査を行う。
・12時半ごろ 松井の天神社前(E)で祭典と検査。
・午後1時半ごろ 古市場の地蔵の辻前(F)で検査を行い、宇太水分神社へ向かう。



宇太水分神社境内では
・午前10時 本祭の儀(氏子、崇敬者が参列)神事が拜殿で行われる。
・午前11時ごろ 子ども神輿や太鼓台が、各自治会から境内に集まる。
・昼12時から午後2時ごろ
勇士な太鼓台(宮本、岩崎、松井、佐倉、宇賀志、芳野の6基)が順次境内に入り、練りまわす。
・午後2時ごろから
神輿渡御の行列が、芳野からの太鼓台に先導されながら到着！
神社境内は、最高潮の盛り上がり！
拜殿に神輿を奉安し、前日までにそれぞれ例祭を行った各地区の郷社26社の御幣を本殿に奉る。各地区(郷)の氏神様がお集まりになったことを表す。その後、神輿渡御の儀(惣社水分神社の女神様が宇太水分神社の男神様のところへお参りに来たことを告げる祭典)が行われる。宮司が、それぞれ同時に祝詞を奏上する珍しい神事である。

・午後3時ごろから
還幸の儀(退出):芳野太鼓台一神輿渡御行列一佐倉太鼓台一宇賀志太鼓台一松井太鼓台一岩崎太鼓台一宮本太鼓台の順で各地域に帰っていく。それぞれの太鼓台は、出発前に再び、境内を練りまわす。2基や3基の太鼓台が、同時に境内を練りまわることもあり、大迫力の見ごたえ！
また、境内の中央で行われる神輿渡御行列の検査も壮観！

めぐるハイキング・サイクルコース

古事記・日本書紀
神武東征の舞台を巡る
菟田野の高城
↓ ◀約0.7km
桜実神社(八つ房杉)
↓ ◀約2.0km
宇賀神社
↓ ◀約0.1km
大殿・血原橋
↓ ◀約1.5km
神武天皇聖蹟 菟田野呂頭彰碑

古墳を巡る
見田大澤古墳
↓ ◀約3.2km
不動塚古墳

季節を巡る
水分桜
↓ ◀約6.7km
岩端桜
奈良カエデの郷ひらら
↓ ◀約3.4km
平井大師山
安楽寺廃寺跡 など

パワースポットを巡る
薬の井、頼朝杉(宇太水分神社)
八つ房杉(桜実神社)
天国の井戸(稲戸八坂神社)
こもうけ石(宇賀神社)
中将姫歌碑(日張山青蓮寺)

